

**令和4年度  
全国学力・学習状況調査  
学校の調査結果**



**令和4年12月  
海老名市立門沢橋小学校**

令和4年度

# 全国学力・学習状況調査について

## 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

## 調査内容

- (1)教科に関する調査(国語, 算数・数学及び理科)  
出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
  - ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
  - ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## 調査実施日

令和4年4月19日(火)

※児童生徒質問紙調査について、一部の学校で、端末を活用したオンラインによる回答方式で実施



# 小学校 国語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し言葉と書き言葉との違いを理解することができるかどうかをみる。
- ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることができるかどうかをみる。
- ・必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉えることができるかどうかをみる。
- ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像することができるかどうかをみる。
- ・表現の効果を考えることができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるかどうかをみる。
- ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。
- ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 物語を読み、登場人物の気持ちや相互関係について、叙述や描写を基に捉えることができている。
- 発言の内容を適切に捉え、言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることを理解できている。

### ◆課題のある点

- 条件を満たし、自分の考えをまとめて書くことに課題があります。
- 学年別配当表に示されている漢字の習得が十分ではなく、文の中で正しく使うことに課題があります。
- 初めて取り組む説明文等を読解することに時間がかかり、時間的に全ての問いに解答することに課題があります。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 学習した漢字や語句を、読んだり書いたりして文章の中で使う機会を増やしていきます。
- 各教科において、多様な文章を読む機会を多く設け、読解力が向上するよう指導していきます。
- 自分の考えを持ち、書いたり伝えたりすることによって、題意に沿って考えをまとめる力が身につくよう指導していきます。

# 小学校 算数

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・二つの数の最小公倍数を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できるかどうかをみる。
- ・示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できるかどうかをみる。
- ・百分率で表された割合を分数で表し、基準量から、比較量を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる。
- ・二つの数量が比例関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができるかどうかをみる。
- ・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できるかどうかをみる。
- ・目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・加法と乗法の混合した数の求め方を解釈し、他の場合の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できるかどうかをみる。
- ・長方形・ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解しているかどうかをみる。
- ・作図手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 被乗数に空位(0)のある整数の乗法の計算をすることができています。
- 示された作図の手順から、どのような図形をかくことができるか判断することができています。

### ◆課題のある点

- 百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることに課題があります。
- 示された作図の手順に間違いがあるときに、その間違いに気づき、正しい手順に直すことに課題があります。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 家庭学習の習慣化を一層図りながら、今後も基礎的・基本的な学習を低学年から積み上げていきます。
- 問題におけるそれぞれの数量や割合が何を意味するのか判断できるように、日常の言葉を大切に  
した指導を国語の学習と合わせて積み重ねていきます。
- 作図の手順をアルゴリズムに表すなど、図形の意味を理解したり、性質を見つけたりできるような  
指導の工夫を充実させていきます。

# 小学校 理科

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・昆虫の体のつくりを理解しているかどうかをみる。
- ・提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・メスシリンダーという器具を理解し、正しい扱い方を身に付けているかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・日光は直進することを理解しているかどうかをみる。
- ・実験の過程や得られた結果を適切に記録しているかどうかをみる。
- ・実験や観察で得た結果を解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 昆虫の体のつくりや、成長するにつれ食すものが変化していくことなどが理解できています。
- 体験的な学習に対する意欲が高く、実験の内容や観察の結果を理解することができています。

### ◆課題のある点

- メスシリンダーの目盛りや、グラフなどを正しく読むことはできていますが、そこから計算をしたり、予想したりすることに課題があります。
- 実験結果を基に考察をして、わかったことをまとめたり、自分の考えを述べたりすることに課題があります。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 実験の目的を理解させ、予想から考察までの流れを意識した授業を行っていきます。
- 子ども達にとって身近な経験や、生活の中で見つけた疑問などから学習のめあてを立て、子ども達の中で実験や観察の必要性を実感できるような授業をしていきます。
- 観察や実験からわかったことや自分の考えを論理的にまとめることができるよう、日常の言葉を大切にしながら指導を国語の学習と合わせて積み重ねていきます。

# 児童質問紙

## 学習について

### ◆本校のよかったところ

- 総合の学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいる意識が高いと言えます。
- 理科の勉強は好きですと回答している児童の割合が、全国平均より上回っています。
- 解答を文章で書く問題では、3教科とも最後まで解答を書こうと努力していました。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 国語のテストにおいて、45分間の解答時間では足りないと感じた児童は、全国平均よりも約12%多くいます。
- 平日において、学校の授業以外に1時間以上学習している児童の割合は、全国平均より約12%下回っています。

## 生活について

### ◆本校のよかったところ

- 毎日、同じくらいの時間に寝て、毎朝、朝食を食べている児童の割合が、全国平均より上回っていて、規則正しい生活習慣が身につけていることがわかります。
- 人が困っているときには進んで助けている児童の割合が、全国平均に比べて約5%上回っています。
- スマホやPCの使い方について家の人との約束を守っている児童の割合が、全国平均に比べて上回っています。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合が、全国平均と比べて約18%下回っています。
- 友達と協力するのは楽しいと思っている児童の割合が、全国平均に比べて約6%下回っています。

## 今後の具体的な取組について

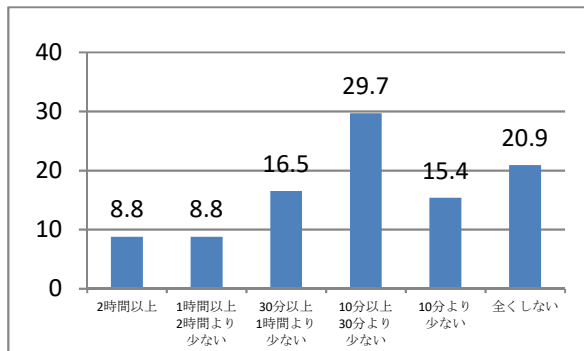
- 読書は好きだと回答している児童が全国平均よりも高いです。これは今まで「わくわくブックタイム」など読書活動に力を入れてきた結果だと思えます。今後も引き続き取り組んでいきます。
- グループ学習やクラスでの当番活動などを通して、児童同士が協力する大切さや喜びを味わわせていきます。
- 自己肯定感を育てるために、各教科、道徳、学活などの活動を通してひとりひとりの良さを認めていきます。

# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

## 1 家庭でも読書の時間を設けましょう。

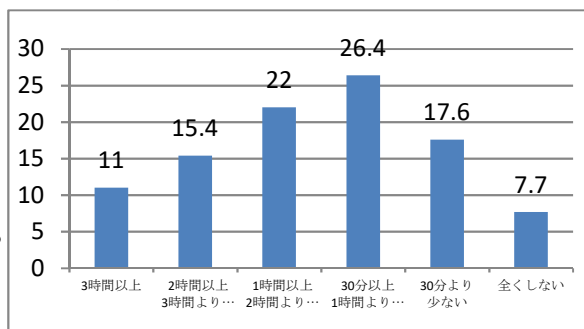
読書を継続的に行うことで、学力の基礎となる読解力を身につけることができます。



学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか(教科書や参考書、漫画や雑誌を除く)

## 2 家庭学習の習慣を身に付けましょう

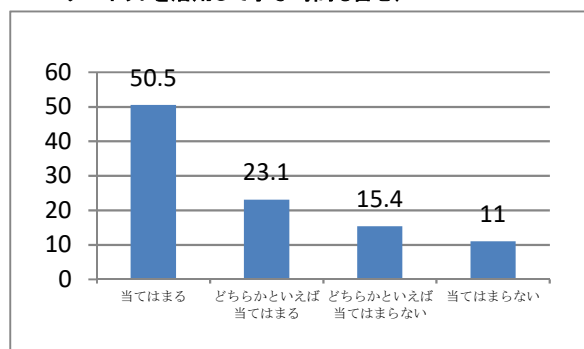
家庭学習は毎日続けることで習慣化されます。お子さんに合った学習時間を設定していきましょう。



学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

## 3 将来の夢や希望を持ちましょう

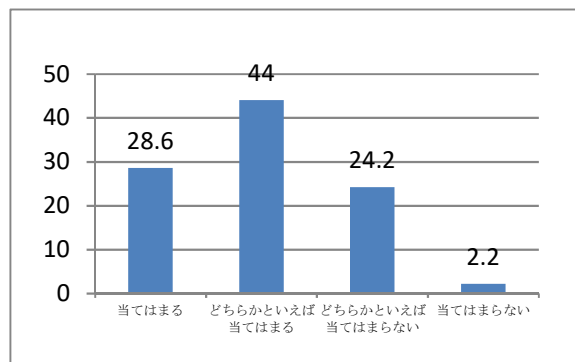
夢や希望をもって日々を生活することは、生活を豊かにしてくれます。



将来の夢や希望を持っていますか

## 4 最後まであきらめずに取り組みましょう

途中で投げ出すことなく取り組むことで忍耐力が身につきます。



自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか

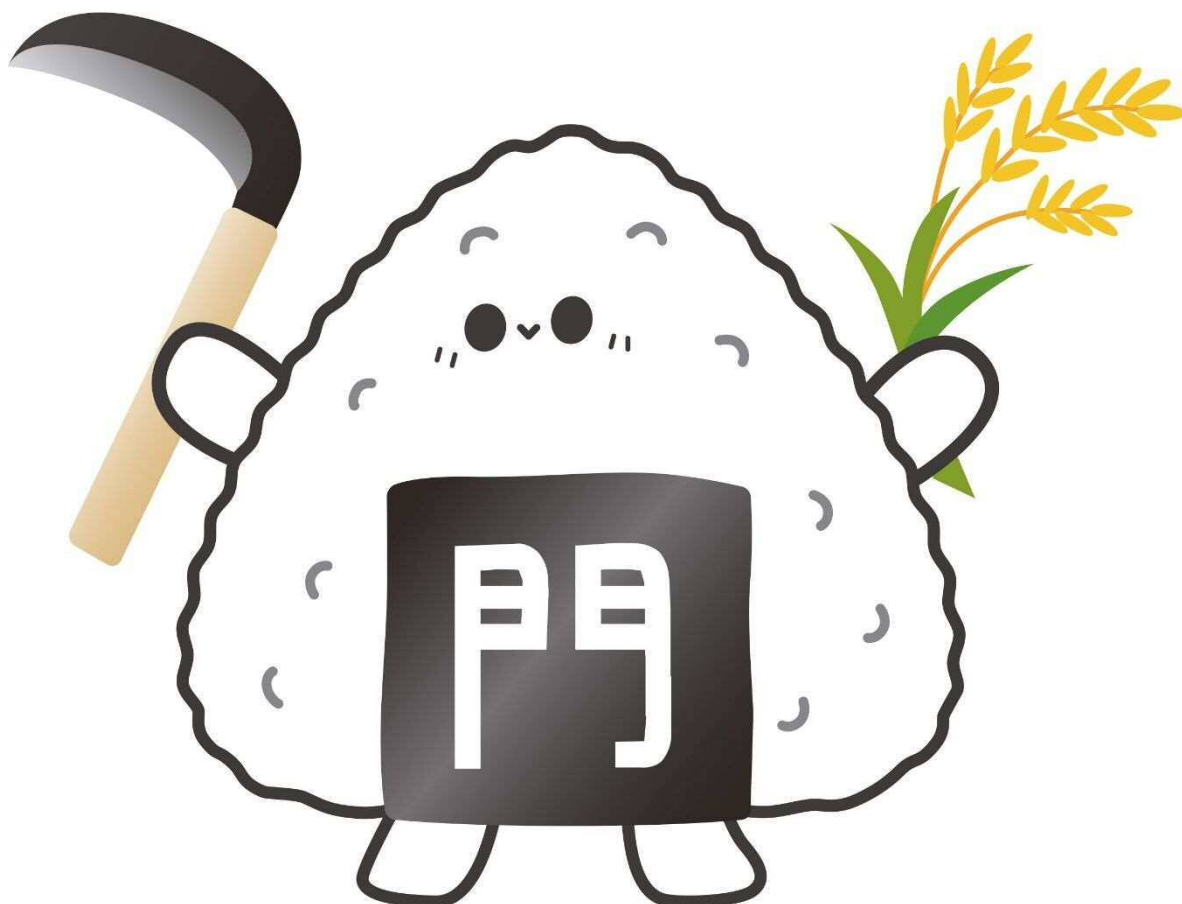
## 結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係